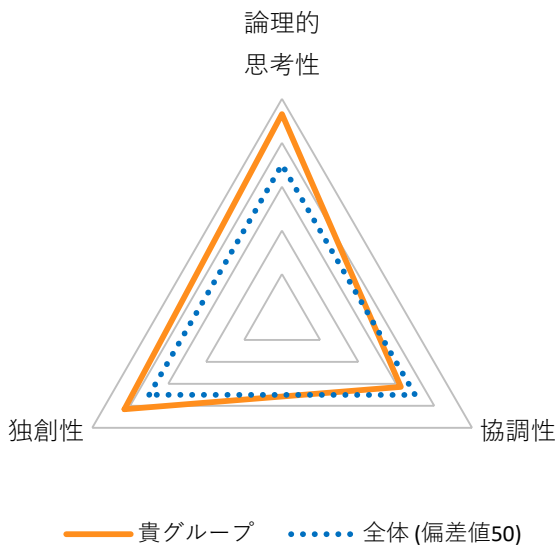


「高等教育機関における人材育成」に関する実態調査（学生対象） フィードバック・レポート

因子分析によって抽出された3つの能力（因子）
論理的思考性
物事を判断するときに、曖昧な問題を整理し、根拠を明確にした上で妥当な推論をする態度、傾向。
協調性
自分と相手を尊重して協力し合う態度、傾向。
独創性
今までにはなかったアイデアを創造する態度、傾向。

貴グループの回答傾向

3つの能力に関するレーダーチャート



各能力の平均値と偏差値		論理的思考性 (質問数10)	協調性 (質問数9)	独創性 (質問数13)
全体の平均値※		／50	／45	／65
貴グループ	平均値※	／50	／45	／65
	偏差値			

※ 1質問項目を5点として集計

因子分析によって抽出された質問項目
貴グループ・全体の平均値

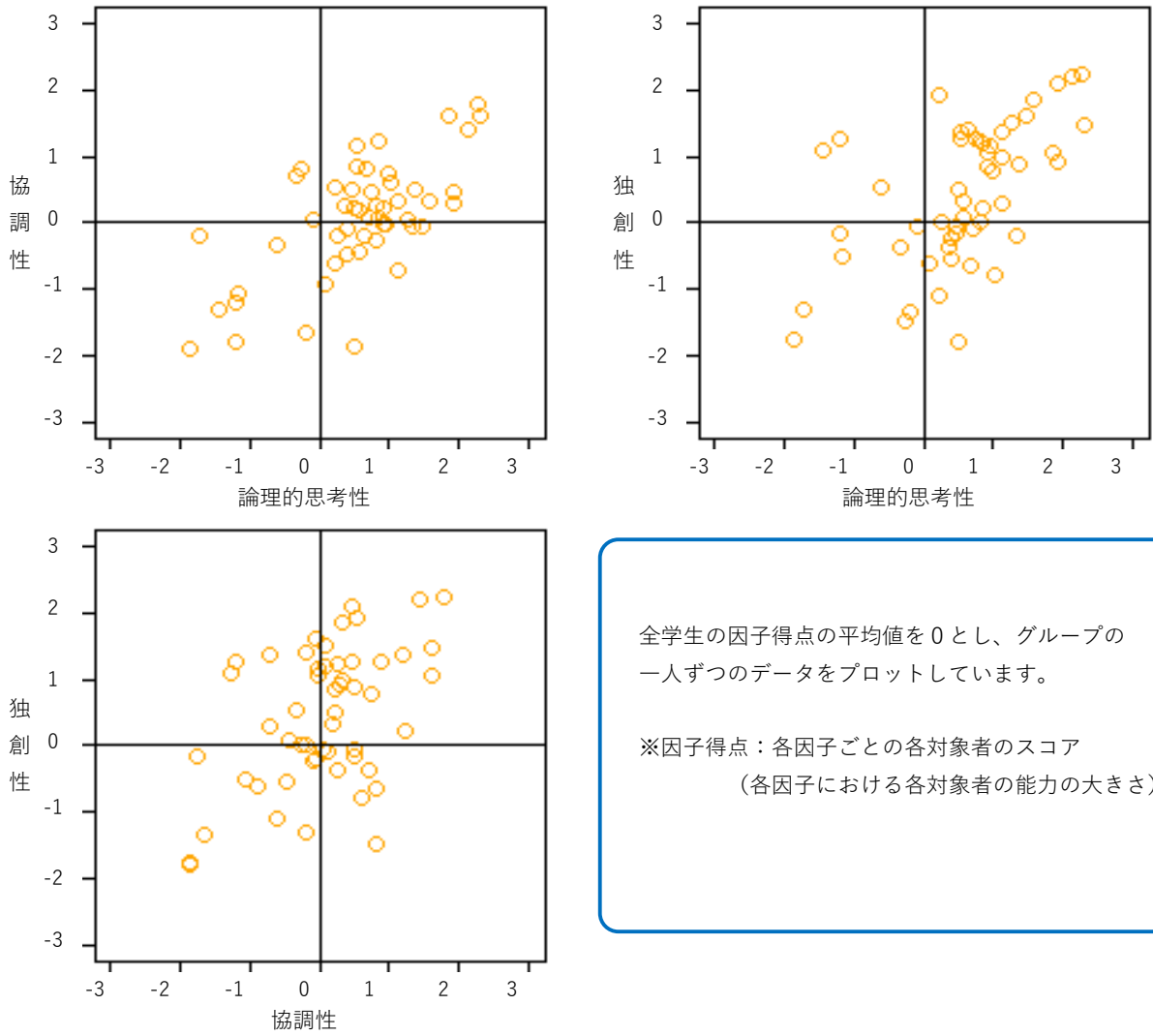
能力	質 問 項 目		平均値	
			貴グループ	全体
①論理的思考性 (質問数10)	論1	得た情報が信頼できるかどうか様々な視点で判断する		
	論2	結論をくだす場合には確たる証拠の有無にこだわる		
	論3	根拠に基づいて判断する		
	論4	論理的にレポートを書ける		
	論5	判断をくだす際は、できるだけ多くの事実や証拠を調べる		
	論6	物事を筋道立てて考える		
	論7	直感に頼らず客観的に考える		
	論8	複雑な問題について順序立てて考える		
	論9	起こった問題や結果に対して要因を繰り返し何度も考えながら深掘りしていく		
	論10	ディスカッションをするとき明確な根拠を持った上で自分の意見を言う		

※ 因子分析の手順については、裏面『調査実施と因子分析の手順』参照。

能力	質 問 項 目		平均値	
			貴グループ	全体
②協調性 (質問数9)	協1	グループ活動において困っている人がいたら積極的に手助けする		
	協2	自分も相手も尊重した言動をとる		
	協3	話し合いをするとき相手の立場に立った言動をする		
	協4	相手の話をしっかり聞きながら対話する		
	協5	グループ活動において自分の役割を考える		
	協6	自分のものと違う意見であっても受け入れる		
	協7	グループ内で意見が対立しているとき両者が歩み寄るように調整しようとする		
	協8	失敗から何かを学ぼうとする		
	協9	その場の状況に合わせて自分の気持ちをうまくコントロールする		

〇〇大学 〇〇学部 《〇〇 先生実施分》

貴グループにおける因子間の得点分布



全学生の因子得点の平均値を0とし、グループの一人ずつのデータをプロットしています。

※因子得点：各因子ごとの各対象者のスコア
(各因子における各対象者の能力の大きさ)

能力	質 問 項 目		平均値	
			貴グループ	全体
③独創性 (質問数13)	独1	自分は探究心が旺盛だ		
	独2	色々なアイデアを生み出そうとする		
	独3	物事を人と違う視点から見る		
	独4	新しい発見をするのが好きだ		
	独5	既成の枠組みにとらわれずに物事を考える		
	独6	既存例から独自性を見出そうとする		
	独7	新しいことに積極的に取り組む		
	独8	新しいことを考えて人を驚かせたい		
	独9	人と違うことを考えることが好きである		
	独10	人と違うアイデアを出したい		
	独11	どんなことにでも自分の持っているアイデアを生かそうとする		
	独12	他の人と違う考え方をしていることが多い		
	独13	アイデアを自ら生み出したり考えたりすることに興味がない		

調査実施と因子分析の手順

